

竹川病院

大森 正雄(看護部 / 看護師)

功績	3階病棟の回復期病棟転換後以来最高となる入院患者数52名の達成および、病床稼働率向上への多大な貢献をした功績。
推薦者氏名	今木 恵子
推薦理由	病棟運営において卓越したリーダーシップを発揮し、従来の49床にとらわれず過去最高の入院患者数52床を達成することによる、病院経営への貢献だけでなく看護現場における質と効率の両立を体現した功績

内 容

当初、病棟の満床基準は49床として運用されてきましたが、10月に竹川ディレクターに変わり次年度のさらなる飛躍を見据え、次年度目標を「51床満床」に設定をしました。

以降、次年度に向けた患者数増を目指すために、大森師長はすぐに積極的な入院受け入れの挑戦を開始しました。その結果、次年度を待たず、回復期転換後の最高患者数51床を計7回達成しました。さらに、この積み重ねが土台となり、3月4日には過去最高数となる52床の入院受け入れを成し遂げました。

この入院数達成は、単に空床を埋めた結果ではなく、大森師長の日々の綿密な入院調整、他部門との連携強化を行ったことでの成果であり、一步踏み込んだ病床管理を実現しました。

また増床に伴う現場の負荷を懸念するスタッフに対し、丁寧な指導と教育を実施。「どうすれば安全に多くの患者さんを受け入れられるか」という視点を共有し、チーム全体の意識改革とスキルアップを同時に成し遂げた点は特筆に値します。

その際には、並行して進めていた看護師採用の状況から、師長としての管理業務を完遂しながら、自らも現場の最前線に立ち業務に邁進しました。多忙な局面においても職員と共に患者対応にあたる「プレイヤー」としての姿勢はスタッフからの信頼が高まりました。

「背中を見せる」指導によって、過密な稼働状況下においても組織の団結力を高め、活気ある現場環境を維持しました。

最も評価すべきは、これほどまでの高稼働を実現しながら、医療の質を一切落とさなかったという点です。2025年10月以降でレベル3以上のインシデントの発生は0件であり、安全管理を徹底し、看護基準を遵守しながらの52床達成は、病院運営における理想的なモデルケースとなりました。

以上の通り、大森師長は経営的視点と現場感覚を高度に両立させ、当院の発展に大きく寄与しました。そのチャレンジ精神と、スタッフを牽引する人間力は全職員の模範であり、理事長賞に推薦致します。